算数科学習指導案

指導者　原田　綾華
山本　梨乃
森河　裕子

１　日　時　令和３年　１月　29 日（金）　第６校時（14：10～14：55）
２　学　年　第２学年　２組　男子 14 人　女子 13 人　計 27 人
３　単　元　分けた大きさのあらわし方をしらべよう　分数
４　単元について

単元について	本単元は，学習指導要領「A　数と計算」（１）数の構成と表し方「数の構成と表し方に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。」ア（カ）「1/2，1/３など簡単な分数について知ること。」を受けて設定されたものである。 児童は，第２学年の「さんかくやしかくの形をしらべよう」では，長方形や正方形を２等分することや，「九九をつくろう」では，２つの数量の関係に着目し，倍で表すことについて学習してきている。これらを受けて，分数についての理解の素地となる学習活動を行い，分数の意味を実感できるようにするとともに，日常生活で生かすようにすることが主なねらいである。

児童の実態

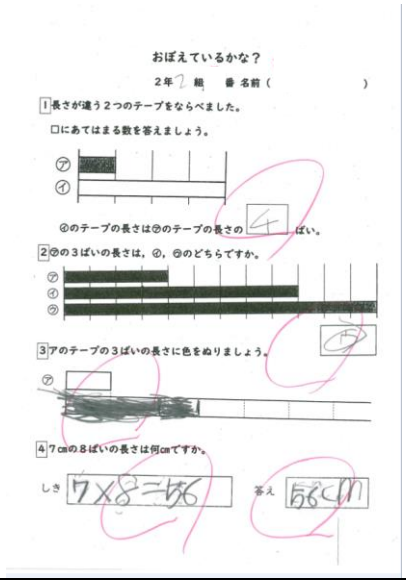
①レディネステストの結果

項目	正答者（人）	誤答の様子
１つ分の大きさの何倍にあたる大きさを捉える問題	22/27	もとの長さを数えていない。
２つの数量に着目し，倍の意味について捉える問題（選択）	21/27	数量の関係を理解していない。
２つの数量に着目し，倍の意味について捉える問題（記述）	23/27	１つ分の長さを数えていない。
倍の意味を理解しているか捉える問題	23/27	立式が逆になっている。

②対象児童の実態と要因

対象児童のレディネスの結果は右の通りである。言葉の混乱が多いため，「倍」ではなく，「いくつ分」といった親しみのある言葉での置き換えを行ってきた。同じ問題を複数回取り組み，説明することを行い，算数用語の定着をはかった。

結果，レディネステストでは，全問正解だったが，言葉の混乱による理解，説明する困難さが考えられる。また，3の問題のように手先を使った作業を苦手としている。



指導にあたって	指導に当たっては以下の２点について留意する。 ①言葉の混乱を防ぐため，もとの長さをカードで示し，強調させる。 ②具体物操作を充実させ，学習への抵抗感を減少させたり，意欲を持たせたりする。

５　単元の目標

知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
具体物を操作することなどによって，１/２や１/３などの簡単な分数について知り，いくつかに等分した大きさを分数を使って表すことができる。	同じ大きさに分けるという操作に着目して分けた大きさの表し方を考えたり，２つの数量の関係に着目して倍や分数の意味についてとらえたりしている。	具体物や図などを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

６　単元の指導計画と評価規準　（全５時間）

次	時	学習内容	知・理	思・判・表	態度	評価規準	評価方法
一	1	・半分にした大きさを二分の一といい，1/2と書くことを理解する。	○			・半分に分けた１つ分を，元の大きさの二分の一といい，１/２と書くことを理解するとともに，紙を折って元の大きさの１/２を作ることができる。	発言 ノート
二	2	・四半分にした大きさを四分の一といい，1/4と書くことを理解する。	○	◎		・四半分に分けた１つ分を元の大きさの四分の一といい，１/４と書くことを理解するとともに，紙を折って元の大きさの１/４を作ることができる。	発言 ノート
	3	・３つに等分した１つ分の大きさを三分の一といい， １/３と書くことを理解する。		○		・３つに等分した大きさを三分の一といい，１/３と書くことを理解している。	発言 ノート
	4	・２つの数量の関係に着目し，倍や分数の意味についてとらえる。		◎	○	・２つの数量の関係に着目し，倍や分数の意味についてとらえている。 ・２つの数量の関係に着目し，倍や分数の意味についてとらえようとしている。	発言 ワークシート
三	5	・学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。	○	○	◎	・基本的な問題を解決することができる。 ・数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら，単元の学習を整理している。 ・単元の学習を振り返り，価値づけたり，今後の学習に生かそうとしたりしている。	ワークシート